

ロケ環境についてのヒアリング結果概要

平成 30 年 3 月 7 日
日本映画テレビプロデューサー協会

【現在ロケ撮影が難しいあるいは使用条件が厳しいと感じている点】

- 特殊車両（パトカー・救急車）の公道走行を可能とできないか。
- 使用する道路の範囲が2つ以上の管轄エリアにまたがる場合は、各々の警察署で使用許可が必要となるが、一元化できないか。
- 電車内での撮影が難しい。特に JR や東京メトロ関連の使用が厳しい。
- 皇居・都市部のドローンを使っての撮影。
- 国営の博物館・資料館・文化財施設の撮影や時間の制約。
- 東京都内の区役所・警察署。消防署・公共施設（東京都以外の場所では撮影許可が下りる事が多い。東京都 23 区が特に厳しいと感じる。）
- 土日の公園（人が多い公園は致し方ないと思えるが、使用条件が非常に厳しい）。都内の公園の撮影が非常に厳しくなっている。ロケ撮影に対応可能な公園を増やして欲しい。
- 都内において、そもそも撮影に協力的な区とそうでない区が存在している。区によっては話も聞かずに断られるケースもある。
- 駅前・繁華街のロケ（危ない、苦情が多い）。
- 皇居前広場など観光地でのロケ。
- 国会議事堂敷地内→撮影 NG であるが活用できればありがたい。（政治ドラマにおいて撮影を実施できたら重厚感が増す）
- 国有林の撮影
- 海外ロケや他国撮影クルーのビザや手続の簡略化

【その他要望事項・意見など】

- 内容（出演者など）や信用力のある会社かどうかといった所に係らず、協力をお願いしたい。
- 映像製作者側が許可内容を遵守して撮影を行っている場合でも、苦情・クレームによって許可を受けていた内容の撮影ができなくなることもある。
- 警察内で管轄があることは理解できるが、国としてコンテンツ製作を支援頂けるのであれば、申請担当事務局を作って頂ければありがたい。
- 文化庁の補助金システムの周知・広報をお願いしたい。
- 2020 年の東京オリンピックに向けて、日本が自分達のコンテンツを発信するチャンスが増えるのはもちろん、外国からの撮影依頼が増えると思います。海外の映画制作チームから、日本の撮影環境は厳しいと指摘されることが多いですが、撮影許可をシンプルかつ円滑にすることにより、多くの海外メディアを日本に呼び込み、日本の素晴らしさを世界に届けて頂きたい。

（以上）